

B S T J

BUSINESS

SUPPORT

TEAM

JOURNAL

浦河編



START-UP! STORY

CHICKEN&CURRYのお店 さっちゃんハウス

「内海 幸子さんの創業物語」

家族と地元の人達とともに、つながりを大切に、料理を通して地元貢献していきたい。

何歳からでもスタートできる!自分の気持ちに真っ直ぐに突き進む!

スープカレーとハンバーグ、仕出しを提供している

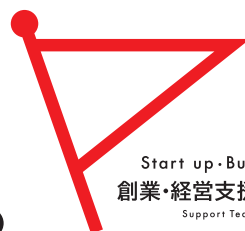
「CHICKEN&CURRYのお店 さっちゃんハウス」内海さんの創業物語。

内海 幸子さんの創業キーワード

Start-up! Keyword

すぐ行動する。

ひとつの創業には、 たくさんの物語がある。



Start up・Business
創業・経営支援チーム
Support Team

事業内容の紹介

SATCHAN HOUSE Data

地域の方々が気軽に利用できるスープカレーとハンバーグのお店。
仕出し弁当の“二刀流”も!

浦河町の中心部にあるショッピングセンター。ここに、内海幸子さんがオーナーシェフを務めるお店「さっちゃんハウス」があります。カレーとハンバーグが好評で、特にスープカレーは札幌の有名店「SAMA」の深みとコクのある味を提供。本格的なスープカレーを広い店内で楽しめるほか、便利なテイクアウトもできるとあって、人気を集めています。このほか、仕出しの弁当やオードブルも手掛けているという内海さん。

常連客から頼まれて始めた仕出しは、イベントや法要、会議など、用途に応じた内容とボリュームが評判を呼び、クチコミでオーダーが増えているといいます。

お店の3周年を祝う寄せ書きを読むと、味わいの確かさ、地域に愛されている空間であること、そして、明るく面倒見のいい内海さんの人柄が、ひしひしと伝わってきます。



紆余曲折があった20~40代。
50代で飛び込んだ飲食業で故郷に出店。
人と地域とのつながりを大切にしながら、
料理を通して地元貢献していきたい。

浦河町で生まれ育った内海さん。地元で就職後、結婚し主婦をしておりましたが、離婚を機に化粧品の代理店を経営。14年間、順調に経営していましたが、親会社が突然の営業停止。半年ほど無職を経験することになり、次の仕事を模索していた時、知人から意外な声がかかりました。札幌で新しく始めるお店の店長兼、料理長を任せたいという話でした。「間もなく50歳になるタイミングでした。経験もノウハウもありましたが、料理好きで以前から興味があった飲食の世界。いろいろ考えすぎると足が止まる。これも何かのご縁と、思い切って飛び込みました」。そして、内海さんの50歳の誕生日に札幌のレストランがオープン。ワンコインで提供する日替わりランチが人気を集めました。「手ごろな価格で喜んでほしい」という内海さんの思いとオーナーの経営方針と

違いが出てきたため、約5年間切り盛りしたレストランを辞め、浦河に帰る決意をしました。

飲食店経営に手応えとやり甲斐を感じた内海さんは、地元での創業も飲食店を選択。商店街の空き店舗の活用と新規出店者を支援する「チャレンジショップ」事業を利用し、現在の場所を居抜きで借りることにしました。

2015年のオープン当初は日替わりランチなど幅広いメニューを提供していましたが、仕出しの需要が増えたため、人気のスープカレーとハンバーグに絞ることにしました。

柔軟な考えを持ち、「常にお客様に喜んでもらうことを優先している」という内海さん。また、人や地域のつながりを大切に考え、札幌時代も浦河のご当地料理を提供するなど、地元のPRを続けてきたと話します。そんな内海さんを地域のみなさんも応援。この地になくならないお店へと成長しました。

「いろんな方々との出会いがあり、今があります。浦河町は人口が減っていますが、今後は料理を通してまちの活性化にお役に立てるようになりたい」。そう語る笑顔が印象的でした。

ボリュームたっぷりの
スープカレーとハンバーグのメニュー。
男性も満足できるボリュームです

ショッピングセンター内にあるため、
気軽に入りやすいお店です。
美味しそうな匂いに誘われます…

看板メニューの
ハンバーグは豚肉100%。
粘り気が出るまでこねると汗が出るほど。

SAMA直伝の
スープカレー。チキンと
ハンバーグも入って
ボリューム満点です。

3周年を祝うお客様から
のあたたかいメッセージ!
内海さんの人柄が
伝わってきます。

創業の動機や経緯について

喜んでもらえるお店をつくりたい!
生まれ故郷で創業を決意。
起業支援も後押しに。

札幌で飲食店を任せられていた内海さん。経営方針でオーナーと考え方が合わなくなったことが、Uターンと創業を考えるきっかけになったと話します。「隣の様似町に子どもたちの近くに住みたいと思いました。浦河町役場に相談したところ、起業支援があると聞き、決意して戻ってきました」。



▲口コミで広がって毎日注文が入る仕出し弁当。蓋を開けた時に喜ぶお客様の顔が浮びます。

創業時の苦勞・悩み・解決方法について

家族の思いを知って悩むも、
自分の気持ちに真っ直ぐに。
決めた以上は貫く強い心が大切。

当初は地元での創業を考えていましたが、内海さんの体を心配するお子さんたちのアドバイスで、パートで働くことも検討したといいます。「実はこれまでパートで働いたことがなかったので、続けられるのが不安でした。悩んだ結果、やはり創業の道を選択。創業する上で必要な事業計画などむずかしい書類の作成は、商工会議所の力を借りて作成しました。必要な資金を一年間で必死に貯め、全部中古の機材を使ってお店を始めることができました」。



▲仕出し弁当のおかずは手作りにこだわり毎朝から仕込みます。

経営において心がけていること

忙しい時ほど忘れたくない。
喜んでもらうための努力と工夫を
いとわない気持ちを持つこと。

やはり喜んでほしいという思いが大きいです。特に初来店のお客様には笑顔で帰っていただきたいので、お帰りの時にはフレンドリーにお声掛けさせてもらうことを心がけています。また、仕出しの方では、お弁当のボリューム感に気を配ったり、好評の煮物や卵焼きの味を守っていきおさずのおいしさで、喜んでほしいと思っています。



▲内海さんのこだわりで塩と砂糖だけで仕上げる卵焼きは、卵の濃厚な味わいが口の中で広がる一品。1回に10個の卵を使用します。

START-UP! Advice!



すぐ動くことで
チャンスが生まれる
のだと思います。

by 内海 幸子さん

私が畑違いの仕事から飲食店の仕事をするようになったのは、50歳になってからです。ノウハウも何もなくても、この年齢でも「できる」ということを、まずは伝えたいです。そのために普段から心がけているのは、気づいた時にすぐ行動すること。また、わからないことはそのままにせず、誰かに聞いてでもやること。すぐ動くことでチャンスが生まれるのだと思います。そして、性格もあるのですが、人から頼まれた事に対して「はい喜んで」とやってきた結果、今があると思っています。

Start-up! Keyword

すぐ行動する。



CHICKEN&CURRYのお店
さっちゃんハウス

内海 幸子

住 所 北海道浦河郡浦河町大通3-53 浦河ショッピングセンターMio
営業時間 11:30~14:00(ラストオーダー13:30)
定 休 日 火曜日(Mio休館日)
TEL 080-3238-5897
facebook <https://www.facebook.com/Chickencurryのお店-さっちゃんハウス-507003736114628/>
HP <https://satchan-house.jimdofree.com>



NEWS

北海道信用保証協会からのお知らせ

「オーエンチャンネル」VOL.12が完成しました!

北海道で活躍されている創業者をご紹介します動画コンテンツ「オーエンチャンネル」のVOL.12が完成しました!
今回は本誌にも掲載している「CHICKEN&CURRYのお店 さっちゃんハウス」の内海 幸子さんの創業物語です。
本誌と併せて、オーエンチャンネルでも創業者をご紹介しますまいりますので、ぜひご覧ください!



You Tube

北海道信用保証協会 オーエンチャンネル 検索

札幌東陵高等学校様にて創業セミナーを開催しました!

札幌東陵高等学校様にて9月3日(月)から2回にわたって、創業セミナーを開催しました。

今回のセミナーは、「『シゴト』をつくる!」をテーマとして、新しく仕事を作り上げること(起業)についてアイデアを出し合い、全員で考えた「新しいシゴト」についてプレゼンを行いました。札幌東陵高等学校の皆さま、熱心に参加いただきましたありがとうございます。

北海道信用保証協会では、起業・創業に関する情報発信を目的として創業セミナーを開催しております。引き続き、起業・創業に係る情報発信に取り組んでいきます。

